

親子で学ぼう「古代人の発明」1

2回目 土器の発明（弥生土器）

氷河期の終わり頃に日本列島で土器が誕生しました。

何故この時期に土で作った器が必要になっていたのでしょうか？不思議に思いませんか？

土器を実際に作りながら人が生きるために発明した

土の器がその後も人と密接な関係をもちながら、使われ続けています。

第2回は「弥生土器」になります。下記の要綱で開催します。



記

- ・日 時：令和6年1月7日（日） 10～15時
- ・活動場所：東山青少年活動センター 2F 創造工作室
- ・応募人数：親子15組（対象：小・中学生とそのご家族15組）
- ・応募期間：各回活動日前日まで（但し、応募人数に達した場合はその日に締切ります。）
- ・参加費：各回1人400円（資料代・保険料込）
- ・講師：辻 純一・吉崎 伸（特定非営利活動法人平安京調査会）
- ・申込方法：メール・葉書・Faxにて氏名・住所・年齢・電話番号を明記し申込下さい。
（保険加入のため、氏名・住所・年齢・電話番号が必要となります。）

・主催：特定非営利活動法人 平安京調査会

（問合せ先） 〒603-8042 京都市北区上賀茂挟間町9番3号室
E-mail：info@heiankyo-tyousakai.com
Tel：075-334-5680 Fax：075-334-5681
ホームページ <https://heiankyo-tyousakai.com>

特定非営利活動法人



この活動は『子どもゆめ基金』の助成活動で実施しています。
この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。
提出された個人情報（写真）は、「（独）国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

